

交通死亡事故ゼロ 無火災 一〇〇〇日記念入賞作文

月潟村の交通安全

月潟小学校五年 星野和美

私は、時々、とびだしてしまっています。私の家のうらにある道にめんした所で、左側は見えるのですが、右側は木があり見えません。だから今は、良く「右、左、右」と見ますが、時々見ないですっていつてしまふときがあります。その時はこわくて、ひどく注意されました。わたしもそれから、とびだしというのが、どんなにこわいかわかるようになってきました。

自転車もとびだすとすぐくきけんです。ひどいときは、命をおとすかも知れません。自転車は、必ず左右を見たらいいと思います。とびだしは、まだ小さい子にもあります。私は一度だけ見ました。が急に道路へ出る時は、遊びで出るので、ふらふらした体つきですぐ出てしまうのです。自転車は、両側をよく見ないで行くのがふつうのとび

だしです。とくに、小さな道から、よく車の通る道へとびだします。そんな時はきちんと左右を見るのが当然です。私もよく見るようにしています。きつと月潟村の人々もそれがみんなわかっているのでしょうか。そして「とびだし」というきけんなことをおこさないためには、まず、一時的に止をしなければなりません。それから左右をよく見ることです。

この月潟村にも「止まれ」というのが、道路に書いてあったり、おうだん歩道だつてあるし、交通安全のためのひょうしきだつてあります。それは、事故をなくそうとする、一つの工夫です。

二つめは、交通安全をよくかけていることです。この月潟村にも、やっている時があります。三つめは、よくわからないけれど、月潟村の人が

事故に気をつけているということ。学校でもきまりが決められているし、自転車の乗り方やきまりも、教えられます。そのことが「交通死亡事故ゼロ千日」という結果になるんだと思います。でも、交通死亡事故ゼロ千日は、まだたつていないけど千日になると、いうことは事実です。事故がない日が千日も続くということは、当然私も、事故をおこしてはいないわけです。

私は、この千日も続いたこと

交通ルールに対しての自分

月潟中学二年 小林真弓

用があつて街の中を通って帰るときは、いつもより気をつける。部活などで帰るのが夕方ごろになるせいもあり、店の前には、自転車、自動車がたぐさ止まっている。そのため、道路の幅がせまくなって、通りにくくなるからだ。

春にあつた自転車教室で、いかに自分がいいかげんにしていたかがよくわかつた。

とをほりに思っています。でも、これは月潟村なのだから、その中に私がいるのだから、とつてもうれいですが、たつと元千日がすぎても、ずつとつと事故がおきないといひです。また、月潟村にめずらしく、よいことがおきてくれたらなと思ひます。月潟村は、こんな小さな村だけど、よいことをつくりだす所だと思ひます。そしてまだまだ、交通事故をなくしていつてほしいと思ひます。

いや、というふうな気持ちになり、やらないでしよう。こんなところは、直さなくてはいいけない。

他にも、暗いからライトをつけようかなと思つても、ペダルが重くなるので、去年はあまりつけなかった。

でも、ライトをつけないうとにより、前方が見えなくなつて、ぶつかりそうになつた話を聞いて、今度からはライトをつけるように気をつけたらと思う。

あんなにスピードを出して危ないなあ。と私は通りすぎていつた車を見て、こんなふうに出すすぎでの事故は少なくない。

事故としては、他にもいろいろあるが、どの事故や行ないに対して、共通していえることは、自分達のいいかげんな気持ちからおこる不注意だ。これはわかりきつていて、ことなのに、あまり注意をする人が少ない。

私も、今まではこの中の一人だつたが、これからは、もつと自分を反省して直していつようにならう。

交通事故のおそろしさ

月潟中学校一年 道見麗子

私は、まだ交通事故にあつたことはありませんが、轢かれそうになつたことや、知人が轢かれたことは幾度かありました。

事故にもいろいろ種類がありますが、私達の周りでおこつていひるのは、たいてい飛び出し事故です。

私が小学校一、二年生ぐらゐの時に、今の小学校五年生の女の子が私の目の前で飛び出し事故をおこしたことがあつたのを覚えています。私が知り合ひの家へ行こうと思つて自転車にのつて角をまがつた時、女の子が突然道路を横切つたのです。ものすごい音がして、ふり返つて見ると女の子が道路の上に倒れていて、なんともいえないふんいきでこわかつたのを覚えています。

私も幼稚園の頃、車に轢かれそうになつたことがありました。十字路を登り石春さんと二人で歩いていて、右の方から車が走つてきたのです。私はカンが鈍くて、それに気がつかずにスタスタと歩

いていつたのです。登り石さんが、ハッと気がつて私の服をグイッと引つぱつてくれたので、私は助かつたわけですが、運が悪かつたら轢かれていたかも知れません。ほんの少しの気のゆるみで、自分の命を落とすことだつてあるのです。

月潟や新潟県の外をみると、毎日の様に事故や火災などがおこつていひます。私たち一人ひとりが十分に気をつけなければ、この世から事故等は、なくならないと思ひます。

まず必ず気をつけなければならぬこととしては、横断歩道を渡る時、左右を確認することです。単純なことですが、意外に守られていないのです。

私達はよく、まだ車が遠くにいるからといつてダダッと走つて渡つてしまふことが多いですが、本当にこれは大切な横断歩道の渡り方の基本だと思ひます。

これを守れば子供の飛び出し事故は少なくなるでしょう。

おそろしい火事

月潟小学校四年 塩浦 亜位子

月潟村は、火事と交通事故がなくて、千日にもうすぐなるといふことは、すごいなと思ひました。

私は火事にあつたことがないので、火事がどんなのかよくわかりませんでした。けどこのごろ、テレビのニュースを見ていると、火事にあつて、死んでしまつた人がいひたり、家があつて外へにげられなくなつてしまふ人もいひたり、わいそうだなと思ひました。そんな人たちがあつて、月潟村の人たちは、火事にたいへん気をつけていひるなと思ひました。

火事は、いつおこるかかわ

たのでよかつたなと思ひました。

火事で、苦しいめにあう人もいひるのに、私はしあわせだなと、ときどき思ひます。

火事にあつて、手、足が悪くなつたりしてこまつていひる人も、日本にはたくさんいひるんだと思ひます。東京の方でも火事はたくさんあつたと思ひます。その、おそろしい火事に、あつた人は「火事つておそろしいな、火事はいつおこるかかわらない二度と火事にあいたくない」と思つた人もいひると思ひます。

月潟村の人たちは、火事がなくて、平和でしあわせだと思ひました。いつまでも、火事にあわないうようにしたいなと思ひました。

感謝献血に92名

去る二月二十五日「ゆうあ

い号」の来村では皆様方からご協力をいただきありがとうございます。結果は次のとおりとなりました。

部落別献血者数

大別当 8名、月潟 38名

西萱場	4名	上通	1名
下通	8名	木滑	7名
釣寄新	2名	役場	15名
その他	9名		
血液型別採血数			
A型	40名	O型	20名
B型	22名	AB型	4名

今回九十二名の方から協力を得ましたが、採血できなかった方は六名でした。

なお、献血十回で日赤の〇を受けられた方は、林昭樹さんと星野隆さんでした。

又、献血に協力いただいた高校生は、前川孝子さん、大関智子さん、山田明美さん、和平由加利さん、上村淳子さんの五名でした。